

平成19年 5月 28日
水 産 庁

水産庁漁業調査船開洋丸による 天皇海山海域におけるトロール漁場環境調査の実施について

水産庁漁業調査船開洋丸は、平成19年5月30日から平成19年6月28日まで、北西太平洋天皇海山海域において、トロール漁場環境調査を実施します。

1. 調査の背景・目的

近年、環境保護団体等が、公海域におけるトロール操業は海山、深海等の脆弱な生態系を破壊し、当該海域特有の希少資源に悪影響を与えると主張しており、国連においても公海域におけるトロール漁業の規制が議論されています。

わが国漁船は、公海上の北西太平洋天皇海山海域においてトロール操業を実施していることから、水産庁は昨年、当該海域を対象にした暫定的な漁業管理の枠組みの検討を開始するとともに、その基礎データとなる海底環境調査を実施し、科学的知見の収集を行いました。今年度も引き続き調査を継続することにより科学的知見の充実に努め、精度の高い資源管理措置の構築を目指します。

2. 調査期間

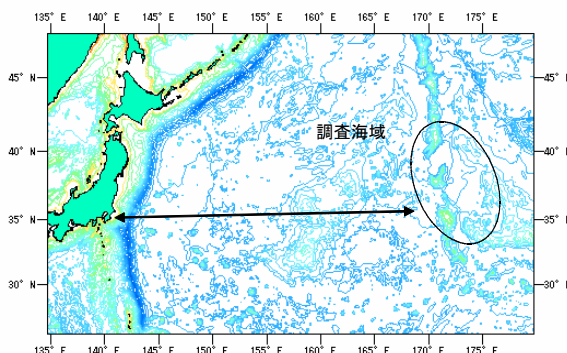
平成19年5月30日（水）～平成19年6月28日（木）（30日間）

3. 調査船

水産庁漁業調査船開洋丸（総トン数2,630トン）

4. 調査海域

天皇海山海域



5. 調査内容

- (1) 魚群探知機による海底地形の観察
- (2) ドレッジ・かに籠等を用いた底生生物、遊泳生物の採集
- (3) 水温、塩分等の海洋観測



かに籠



ドレッジ（底生生物の定量採取用）



問い合わせ

水産庁増殖推進部漁場資源課国際資源班

担当 長谷川、岡添

代表 03（3502）8111（内線6803）

直通 03（6744）2380

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jfa.maff.go.jp/release/index.html>